

2020年 5月 31日 《ペンテコステ礼拝》

## 主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③13時半 ④19時

司 会  
奏 楽  
祈 禱  
賛 美  
十 戒  
聖 書

聖歌565番 & ～聖霊の主よ～

①使徒行伝1章12～14節

②③使徒行伝2章1～4節

④使徒行伝2章1～4節

特別賛美  
メッセージ

①「何にてもその命ずる如くせよ」大川従道牧師

②③「約束の聖霊様」石井 潤牧師

④「私の霊を全ての人に注ぐ」大川従道牧師

献 金  
祝 禱  
お知らせ  
賛 美

聖歌570番 & ～栄光から栄光へと～

〔司会者〕

～主イエス神の愛～

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！

### 《今週のお知らせ》

★本日はペンテコステ（聖霊降臨記念）礼拝です。約二千年前に聖霊様がこの世に来てくださった記念の礼拝です。主を心より歓迎しつつ祈り続けましょう！

☆転入会おめでとうございます！ 高石廣行兄・とく子姉（御代田町）

★今週の祈り会は、○早天祈禱会：月曜朝6時。○木曜祈禱会：10時半・19時半。○準備祈禱会：土曜夜8時。共に祈りましょう！

☆来週の日曜礼拝では、誕生祝福式。（①8時半②10時半③13時半④19時）

### 一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [5/31-6/7]

| Date | 日         | 月          | 火          | 水          | 木          | 金          | 土          | 日            |
|------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------------|
| 聖書   | ルカ<br>11章 | 12-<br>13章 | 14-<br>16章 | 17-<br>18章 | 19-<br>20章 | 21-<br>22章 | 23-<br>24章 | 1歴代誌<br>1-3章 |
| チェック | ○         | ○○         | ○○○        | ○○         | ○○         | ○○         | ○○         | ○○○          |

## 「約束の聖霊様」

～主は真実なお方～

「…以前わたしが話しておいた天のお父様の約束の聖霊が降るまで、エルサレムに留まっていなさい。ヨハネは前に水であなたがたにバプテスマを授けましたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるようになります。…。しかし、あなたがたが知るべきことはこのことです。聖霊があなたがたの上に降る時、あなたがたはわたしの死と復活の証人として、それをほかの人々に語る力が与えられます。それは、まず身近なエルサレムの人々から始められ、ユダヤ、サマリア、さらに地の果てまで語り出さずにおれなくなきましょう。」使徒行伝1章4・5、8節（現代訳）

本日はペンテコステ礼拝です。イエス様が天に上げられてから、10日後に約束を待ち望む弟子たちに聖霊が豊かに注がれました。そして、世界の言語を用いて神の福音が語られ始めました。宣教元年とも言える出来事でした。イエス様がおられた時は、イエス様のご指導のもと、弟子たちも遣わされたことはありましたが、今度は聖霊様のご指導のもと世界中に神の国の福音が宣べ伝えられていきました。現在はコロナウイルスのために思うように動き回れない状況ですが、時が来たら、私たちも積極的に伝道していきたいと願います。

ペンテコステ＝五旬節の祭とは、過越の祭から50日目の祭で、旧約聖書では七週の祭とも表現されています。それは、大麦、小麦の収穫を祝う祭で、その初穂を捧げるときでもありました。そして、パレスチナでは、その収穫を来らせる大雨が過越の祭の頃にあり、「後の雨」とか「春の雨」とか呼ばれて、麦の収穫の前に降る大雨をいいます。その大雨があって初めて豊かな収穫がなされるということです。イエス様の十字架で豊かな罪の赦しという神様の愛の雨が、その血潮が注がれて、聖霊様という神ご自身が永遠のいのちの保証として人類に与えられました。惜しげもなくその聖いお命を私たちに注いでくださった主イエス様は、聖霊様を通して、一人一人に神様ご自身をお与えになりました。

イエス様の別名が「インマヌエル」。その意味は「神我らと共にいます」という意味ですが、そのイエス様は天にお帰りになりました。その「インマヌエル」を実現されたのは、聖霊様ご自身です。聖霊様は「別なる助け主」で、イエス様と同質で別なる神様です。そのお方が、主を信じるすべての人々に与えられる約束そのものでした。その約束は神が私たちと共にあるという約束です。神様は神様ご自身のお働きを聖霊様を用いて、私たち人間を通してなさろうとします。表面的には人が働いているように見えますが、クリスチャンの場合は異なります。クリスチャンは神様が御業をなされます。しかし、私たちの心が主に従っていないと神様ご自身は働くことができません。「自分を捨て、日々自分の十字架を背負って」とありますように、私たちは自分自身の栄光のためではなく、神の栄光のために生きたいと願います！